

進路選択に向けたスケジュール

中学校の進路の取組は、生徒が主体となって、自分の将来について考え、相談したり、調べたり、体験したりしながら進路決定をする重要な学びです。学校を選ぶ際には、本人が学校生活のイメージをもち、教育課程について理解し、納得することが大切です。特別支援学校高等部に入学してから、「本当は高校に行きたかった。」「ここに来たくなかった。」と進路の後悔や、「各教科等を合わせた指導」の学習スタイルが受け入れられない等といった不適応にならないように、日々の進路学習をより丁寧に行いながら、保護者との情報共有を心がけて行うことが必要です。

中学卒業後の進路については、高等学校、特別支援学校高等部への進学だけではありませんが、取組をイメージすることを目的に、進路先の決定への取組について、高等学校と特別支援学校高等部を検討する場合を以下に示しました。

【取組のイメージ】

本人・保護者のニーズを把握

途中で希望先が変わることも考えられます。常に本人・保護者のニーズの把握に努めましょう。



- 面談
- 進路希望調査等

進路先を検討する上で、高等学校と特別支援学校を併願できることもきちんと説明しておきましょう。

自己理解と自己決定を大切に



特別支援学校を検討している場合

高等学校を検討している場合

1年	<input type="checkbox"/> 情報収集 <input type="checkbox"/> 進路希望調査 <input type="checkbox"/> 学校見学 ※1年生の段階から、担任は、特別支援学校のセンター的機能担当者に連絡を入れ、学校の様子や、入試までの必要事項等を確認します。学校見学は、年間計画に位置付けて必ず実施しましょう。	両方を検討 保護者と ともに	<input type="checkbox"/> 情報収集 <input type="checkbox"/> 進路希望調査 ※交流学級との学習を中心として進路学習を進めつつ、必要に応じた進路学習を計画します。
	<input type="checkbox"/> 進路学習(進路先の学校生活をイメージした学習) 【例】通学の仕方 <input type="checkbox"/> 特別支援学校での体験学習(活動に参加)や見学 ※実施する時期を特別支援学校に確かめ、生徒は、実際に特別支援学校の授業を体験します。(より学校生活のイメージがもてるようにします。) <input type="checkbox"/> 学校説明会 <input type="checkbox"/> 現場実習(必要に応じて) <input type="checkbox"/> 職場体験(または3年生で) ※高等学校を希望していても、特別支援学校を検討することになる場合もあり、その場合は、見		<input type="checkbox"/> 合理的配慮(個別の支援等)の検討と実施 ※日々の授業や定期テスト等における合理的配慮について、本人・保護者と相談し行い、その都度、個別の指導計画等に記載します。
2年		<input type="checkbox"/> 進路希望調査等を参考にしながら、本人の得意なところや頑張っていること等を共有し、進路について話し合います。 <input type="checkbox"/> 家庭からの情報を得る機会を積極的にもちましょう。進路変更についても一緒に考えていきます。 <input type="checkbox"/> 高等学校、高等部以降の進路についても話し合うことが大切となります。	<input type="checkbox"/> 進路学習(特別支援学校も含め学校生活をイメージした取組) <input type="checkbox"/> 職場体験(または3年生で) <input type="checkbox"/> 進路先との相談 特別支援学校のことも知りたいです。 高校卒業後は、どのようにお考えですか？



学や体験を計画していきます。

2年生の段階では、生徒が入学後のイメージをもつための体験的な取組がより必要になります。内容等を丁寧に説明しながら、必要に応じて保護者の協力や参加を依頼します。

志願先を決め、受検（選抜検査）に向けて

3年

- 進路学習（年間を通じて）
- 受検に向けた指導
 - ・入試までのスケジュール
 - ・面接試験のロールプレイ
- 進路先の生活を想定した指導
 - ・通学方法の確認
 - ・練習等（個別に計画）
- 学校説明会（出願予定者）
- 特別支援学校の体験学習
- 就学相談会（受付8～9月上旬、期日9～10月）

※就学相談会への参加は、出願する条件になっているので、志願する学校の就学相談会に必ず参加しましょう。
（高等部生徒募集要項で確認すること）

【出願等の手続きに関すること】

6月頃

- ・特別支援学校高等部募集要項の発表（障がい種別）

10月～

- ・志願先の就学相談会に参加
- ・入学願書等の配布

1月

- ・受付期間内に願書提出

2月

- 受検（選抜検査）
- 合格発表
- 入学確約の手続き

- 入学者説明会
- 移行支援会議
- 引継ぎ




- 本人の気持ちを保護者と共有しながら、志願先の確約をしていきます。
- 高等学校や特別支援学校高等部等の見学等を通じて、将来の生活をイメージしながら、進路学習と関連をもたせていくことが大切です。
- 必要に応じて、高等学校の通級についての説明を行います。



受検



- 入学までにできることを話し合い、保護者と協力しながら行います。

- 進路学習（年間を通じて）
- 学校説明会
（オープンキャンパス）
- 特別支援学校も志願先にする場合（併願）は、特別支援学校の就学相談会に参加
- 志願先との相談（個別に計画）
※管理職や特別支援教育コーディネーターと連携し、進路先と4月からつながることが大切です。
管理職（在籍校の校長）から志願先高等学校長へ事前相談の手続きを行います。

【相談例】

- ① 生徒自身のことを説明する。
- ② 志願先の管理職に合理的配慮について説明する機会をもち、理解を促す。
- ③ 入試に係る「特別措置」についての事前相談等
（詳しくは「公立高等学校入学者選抜実施要綱」で確認しましょう。）



- 入学者説明会
- 移行支援会議
- 引継ぎ



進路先での安心した学校生活のために



ポイント

進路先が決まったら、進路先でも適切な支援が受けられるように、学校（中学校）や保護者から必要な情報をできるだけ早く伝えるようにします。特に個別の教育支援計画は、進路先でも引き続き、その活用が図られるように、丁寧に進路先と引き継いでいくことが大切です。個別の教育支援計画の引継ぎは、保護者の同意の下に中学校から行います。

